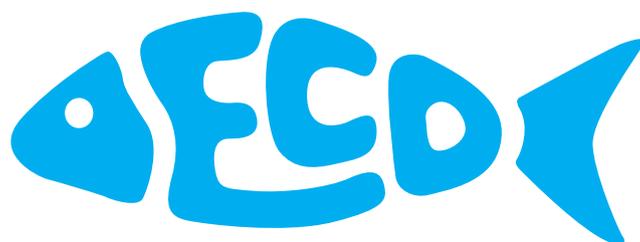


つり環境ビジョンコンセプトに基づく
LOVE BLUE
事業報告書
2017

～全国に広がる感謝の輪～



LOVE
BLUE

地球の未来を

つり環境ビジョン

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～活動理念～

私たちの考える「LOVE BLUE ～地球の未来を～」とは、持続可能な釣り環境を構築するために、釣りにかかわるのすべての人々が、共通の想いをもって発信する未来に向けた理念です。海や川に囲まれ、水に恵まれた国、日本。日本の釣り文化は、世界的に見ても群を抜いて高度であり、とても魅力的です。だからこそ私たちは、「釣りで自然を汚さない」から「釣りが自然を再生させる一助になる」ように環境への意識をさらに高め、世界に誇る「水辺の環境保全」を志向する社会貢献事業の実施を目指してまいりたいと考えています。

「LOVE BLUE ～地球の未来を～」をスローガンに、まずは、「環境保全」と「資源回復」を両軸に、「水辺をキレイに」「サカナを増やそう」「フィールドを広げよう」を3つの優先事項とし活動してまいります。

LOVE BLUE 事業報告書 2017

～全国に広がる感謝の輪～

目次

- I (一社) 日本釣用品工業会 2017 年度事業報告
- II (公財) 日本釣振興会 2017 年度事業報告
- III LOVE BLUE 事業のあゆみ
- IV 参加企業
- V 2017 年度事業収支報告書
- 巻末 松下和夫京都大学名誉教授 ～日本の釣り文化の醸成と LOVE BLUE 事業の役割～

Japan Fishing Show 2018 in YOKOHAMA

2018年のジャパンフィッシングショーでは、新たに開催理念を「“釣り文化”を創造し、健やかな未来を育む。」と位置づけ、釣り界全体で取り組む LOVE BLUE 事業を広く一般にご紹介するため、(一社)日本釣用品工業会 島野容三 会長並びに(公財)日本釣振興会 高宮俊諦 会長を始めご来賓の皆様や未来を担う子どもたちと一緒に、放流式典を実施致しました。



当日放流されたカサゴ



にて放流式典を開催



放流式典にて挨拶を行う小島委員長



ジャパンフィッシングショーの会場である神奈川県横浜市のパシフィコ横浜に隣接する臨港パークにて、カサゴを放流しました。



(一社) 日本釣用品工業会 2017年度事業報告

- ・ LOVE BLUE TOPICS
- ・ 水産庁後援 内水面釣り場拡大事業 (ワカサギ)
- ・ 水中清掃
- ・ 地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成
- ・ 専門機関と連携した放流

政府主催「海の日行事“海と日本プロジェクト”」 総合開会式に正式招待



5年目を迎えた、社会貢献事業として進める、LOVE BLUE 事業のこれまでの取り組みから、「海の日」に、海と日本人の絆を想い、次世代を担う子供たちに海の恵みを引き継ぐための機会として開催され同式典へ、当工業会が招待をいただきました。

当日は、石井啓一 国土交通大臣、松本純 内閣府海洋政策担当大臣、笹川陽平 日本財団会長らが挨拶に立ち、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長らが出席し、政府関係者や海事行政担当者の皆様へ今後の一層の連携のためにこれまでの事業報告などを行って参りました。

左から 国土交通省海事局 蒲生篤実 局長
小島忠雄 LOVE BLUE 委員長
内閣府総合海洋政策推進事務局 羽生一郎 局長
国土交通省海事局 検査速度課 重富徹 課長



水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～ 内水面 釣り場拡大事業 (ワカサギ) 全国展開へ ～

これまで、当工業会は、全国的に楽しめる入口の釣りとして、世代や個人・グループを選ばず、食べても美味しく、道具も比較的安価で、近年人気が高まりつつある、手軽な「ワカサギ釣り」を、LOVE BLUE 事業のうち、釣り場の拡大事業と位置付けられないかと、調査・検討を進めて参りました。

この間、水産庁をはじめ、国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所 内水面研究センターや全国内水面漁業協同組合連合会から LOVE BLUE 事業へのご理解とご協力をいただきながら、2017 年度から「水産庁後援事業」として、全国に先駆けて、モデル事業となる、ワカサギ卵供給に係る初期設備（孵化施設）一式の物納支援を群馬県水産試験場と長野県水産試験場からの事業計画等を基に実施したところです。その後の運営等はそれぞれが主体的に進めていただくことになっています。

この事業の推進により、多くの釣り人の皆様に喜んでいただける、ワカサギ釣りの発展を契機として、全国各地の地域活性化などにも LOVE BLUE 事業が寄与できればと考えています。

2018 年度は本事業を全国各地で実施できるよう、まず、水産庁から国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所 内水面研究センターと全国内水面漁業協同組合連合会



第 22 回ワカサギに学ぶ会（山梨県立図書館）

へ本事業の応募要領をご周知いただき、さらには同庁から全国各都道府県水産担当者へ。おなじく、国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所 内水面研究センターからは全国各都道府県内水面試験場へ。また、全国内水面漁業協同組合連合会からは、全国各都道府県内水面漁業協同組合連合会へ、本事業の応募要領をご周知いただくことになっております。

2018 年度にワカサギ卵供給に係る初期設備（孵化施設）一式の物納支援を希望する都道府県・水産試験場・漁業者等からは、募集期間（同年 5 月 15 日（火）～ 6 月 29 日（金）まで）に応募要領に規定される一定の条件を満たす応募を受け付け、関係機関の協力を得ながら、厳正なる審査を実施し、同年 9 月頃には、当工業会が採択を決定することになっています。

2017 年度モデル事業 群馬県 ワカサギ卵孵化施設 支援 第一号

2017 年度のワカサギ卵供給に係る初期設備（孵化施設）一式の物納支援第一号は、3月28日に群馬県水産試験場に実施されました。

群馬県水産試験場が取り組むのは、『設置型』のワカサギ卵孵化施設です。

現在、群馬県内の高崎市公営釣り場となっている鳴沢湖において、ワカサギ卵の供給を安定させることで、ワカサギ釣りへの来場者増加を目指すために、自湖産のワカサギによる卵生産への取り組みを一層進め、またゆくゆくは地域へワカサギ卵を供給することも目指すために、本事業から支援を受けたいとのご要望が事業計画として提出されました。

この事業計画に基づき、親魚捕獲網から自然採卵プール、並びに2連筒形孵化器の一式を鳴沢湖に設置し稼働が開始しました。これが LOVE BLUE 事業による内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）の支援第一号となりました。

設置当日は鳴沢湖において、ワカサギ卵孵化施設設置除幕式が行われ、同日、高崎市役所において、富岡賢治 高崎市長から本事業に対する感謝状が授与されました。



ワカサギ親魚捕獲網



群馬県水産試験場 渡辺 峻 氏による施設の説明を受ける大村副会長と小島委員長



支援させていただいた施設には、釣り人をはじめ会員企業並びに参加企業等の皆様のご理解とご協力のもと釣り関連用品の売り上げの一部を基に設置された旨が記載されたプレートが貼付されます。

鳴沢湖 除幕式における 当工業会 大村一仁副会長の挨拶

2017年3月28日(水) 群馬県高崎市鳴沢湖



施設除幕式の様子

○本日は、群馬県高崎市・鳴沢湖公営釣り場で、日本の釣り界が一体となって取り組む「つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業」をお役立て頂けるということで伺わせて頂きました。

○2013年にスタートした LOVE BLUE 事業は、現在、国内 250 社の釣り関連メーカー等が参加しています。

○本事業の仕組みは、国内で製造・販売される釣り道具のひとつひとつに環境・美化マークが表示されており、このマークの表示された商品の売上の一部を基にこの事業が運営されるというものです。

○LOVE BLUE 事業の一環として、この度、水産庁よりご後援を頂くことになりました「内水面 釣り場拡大事業 (ワカサギ)」を、今年度にモデル事業として、長年ワカサギの取り組みを進めて来られた群馬県水産試験場により、鳴沢湖公営釣り場で本日よりスタートできるということを心より喜んでおります。

○この事業は、高崎市並びに、群馬県水産試験場からのご要望を頂き、ワカサギ卵を自湖産で安定供給することで、県内外から世代を超えた多くの皆様に、ワカサギ釣り場にお集まりいただき、釣って楽しく、食べておいしいワカサギ釣りを楽しんで頂き、ひいては高崎市のみならず圏域全体がより一層発展することを目的として、『ワカサギ卵孵化施設整備一式』を LOVE BLUE 事業として、全国に先駆けて、第一号の物納支援をさせて頂くことになりました。

○これにより、ますます鳴沢湖公営ワカサギ釣り場が発展し、その成功事例を基に、全国各地でワカサギ釣りがますます盛り上がることを心より祈念申し上げます。

○最後になりますが、本日を迎えるにあたり、水産庁をはじめ、群馬県、高崎市、群馬県水産試験場、国立研究開発法人 水産研究・教育機構 中央水産研究所 内水面センター、全国内水面漁業協同組合連合会等の皆様にご理解とご協力を賜りましたこと衷心より厚く御礼申し上げます。

2017 年度モデル事業 長野県 ワカサギ卵孵化施設 支援 第二号

2017 年度のワカサギ卵供給に係る初期設置（孵化施設）一式の物納第二号は、3 月 30 日に長野県水産試験場に実施されました。

長野県水産試験場が取り組むのは『可搬型』のワカサギ卵孵化施設です。長野県下ではワカサギ卵生産地から卵の供給を得ながら、新たにワカサギ釣り場としたい県下のいくつかの湖などに孵化施設を都度運搬し、順次ワカサギ釣り場を創設するために、本事業から支援を受けたいとのご要望が事業計画として提出されました。

そのため、長野県水産試験場の孵化施設はソーラーパネルとともに軽トラック一台程度で移動が可能な大きさや重量となっており、これが LOVE BLUE 事業による内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）の支援第二号となりました。

群馬県及び長野県のモデル事業にはワカサギ釣りの今後の発展の大きな期待が寄せられているとともに、それぞれの施設には、釣り人の皆様が「環境・美化マーク」の表示された釣り道具をお買い求めになった売り上げの一部を基に、設置されたことを示す銘板が取り付けられています。



LOVE BLUE 事業からの支援で設置された旨のパネル



軽自動車にも積載可能な可搬型の設備です



施設の全景

群馬県高崎市市長表敬訪問 ワカサギ卵孵化施設整備支援への感謝状授与式

2018年3月28日(水) 高崎市役所

LOVE BLUE 事業は、社会貢献事業として実施する水産庁後援、内水面釣り場拡大事業「ワカサギ」について、2018年3月28日、群馬県高崎市 富岡賢治 市長へ、同市鳴沢湖公営釣り場にワカサギ卵孵化施設一式設置のご報告及び御礼のご挨拶に、当工業会 大村一仁 副会長、小島忠雄 委員長、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事らが表敬訪問を行い、富岡市長より感謝状が授与されました。



左：富岡賢治 高崎市市長、中央：大村一仁 副会長、右：小島忠雄 委員長



和やかな談笑

～地元の活性化に役立つワカサギ卵孵化施設設置に感謝～

大村一仁 副会長 以下、大村副会長：本日は年度末のご多用の折、お時間をいただきましてありがとうございます。私どもは、一般社団法人日本釣用品工業会と申しまして、釣用品を製造する企業等で構成される全国団体で122の会員が所属しています。

本日、群馬県高崎市の鳴沢湖におきまして、ワカサギの卵の孵化施設を設置させていただきましたので、ご報告と御礼のご挨拶に参りました。

まずこの事業は、水産庁後援「釣り環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）」という事業として、全国内水面漁業協同組合連合会、国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所 内水面研究センターからのご協力を頂きながら取り組む、内水面におけるワカサギの卵孵化施設設置事業です。「ワカサギ釣りが楽しめて、地域も元気に！」ということで、LOVE BLUE 事業として、ワカサ



大村副会長



富岡高崎市長

ギ卵孵化施設整備を支援致します。これにより、新たな釣り場の創出や、既にあるワカサギ釣り場が安定してワカサギ釣りができるようにしたいと考えています。

初心者からベテランまで幅広く楽しめるワカサギ釣りを、全国に先駆けて、ここ鳴沢湖を施設整備第一号として、今後、日本全国で多くの方にワカサギ釣りを楽しんでいただき、これに伴い、地域の活性化に資する社会貢献事業となればよいと考えております。

富岡賢治 高崎市長 以下、市長：本日は、鳴沢湖でのワカサギ施設整備の支援をいただきありがとうございます。今回の支援のお話を伺っております。ご存知の通りワカサギ釣りは、地元高崎市にとっても大きな収入源の一つになっています。地域経済の発展なども含めて、本当にありがたいです。

この感謝の思いから、高崎市として本日、貴会へ感謝状をお贈りさせていただきます。

大村副会長：高崎市長、こちらこそ、社会貢献事業として実施する LOVE BLUE 事業を

地域活性化の為に、貴市でご活用頂きましたこと、心より厚く御礼申し上げます。また、感謝状も謹んで拝受致します。重ねて御礼申し上げます。

貴市への施設整備の経緯は、まず、本事業のご相談を国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所 内水面研究センターへご相談させていただいたところ、「全国に先駆けたモデル事業を実施するのであれば、長年ワカサギの研究をされている群馬県水産試験場からの技術指導を基に、貴市の公営釣り場である鳴沢湖で、ワカサギ孵化施設を整備が望ましいのでは」とのお話をいただき、併せて、貴市並びに群馬県水産試験場からも施設整備支援へのご要望をいただいたことが背景となります。私どもといたしましても大変ありがたいお申し出でございました。

～ワカサギ卵孵化施設への期待～

箕郷支所長^{みさと}：鳴沢湖におけるワカサギ釣りは、10月から翌年4月ぐらいまでがシーズンで、冬を盛り上げているところですが、今回ワカサギの卵孵化施設を設置していただいたことにより、今年度以降のワカサギ釣りが一層活性化できるのではと大きな期待を寄せています。

ご存知の通り、ワカサギは年魚のために、自然産卵または放流が毎年行われることが安定したワカサギ釣りにはとても大切なのですが、自然産卵は、量が少なく、今までは他地域からワカサギの発眼卵を購入し、毎年放流を行っていました。

市長：今回ご支援いただきました、ワカサギの卵孵化施設というのは具体的にはどのような仕組みになっているのですか。

小島忠雄 委員長 以下、小島委員長：鳴沢湖



小島委員長

の流入河川から採捕したワカサギの親魚を水槽に入れると、2日ぐらいで卵を産みます。この卵を今回の孵化施設で育成し、2週間ぐらい経過すると、卵に目が出てきます。さらに大きくなりますと孵化施設から鳴沢湖に放流されて行くという流れになっています。

市長：鳴沢湖で利用する卵は鳴沢湖内に生息する親魚の自然産卵ということであれば自然環境にも優しいということで良いですね。

小島委員長：その通りです。自然環境が何より大切だと私たちも考えています。その上で、より安定したワカサギの供給となりますと、今回のような孵化器等を利用することが望ましいようです。地元の皆様のご要望の通り、自湖産のワカサギでより一層安定的な釣り場の発展となることへお役立ていただければと考えています。

市長：このようなワカサギの卵孵化施設を利用したワカサギの増殖の取り組みが各地でさらに進むと良いですね。是非頑張ってください。

大村副会長：鳴沢湖さんを皮切りに、2018年度からは、全国各地でお役立ていただける社会貢献事業として取り組んで参りたいと考えています。本当にありがとうございます。

～釣り人の皆様へ感謝～

大村副会長：社会貢献事業として取り組む LOVE BLUE 事業には日本釣用品工業会の会員のみならず多くの釣用品メーカー等に広くご参加をいただいております。現在 250 社にご参加をいただいております。

今回の孵化施設の銘板にも表示してありますように、現在、釣り道具の一つ一つのパッケージに表示されている「環境・美化マーク（魚マーク）」付きの商品を、釣り人の皆さんがお買い求めになった売り上げの一部を財源として、この社会貢献事業が実施されています。おかげさまで 5 年目を迎えることが出来ました。

ワカサギの卵孵化施設支援のほかには、全国の海、川、港湾施設等の水中を清掃したり、水辺の環境保全を担う NPO 等を助成したり、各地で放流を行ったりしています。

2015 年には環境省から感謝状をいただき、2016 年には G7 伊勢志摩サミットと、2017 年・2018 年は全国豊かな海づくり大会へ貢献させていただく形で、ご要望を基に、サミットや大会前に周辺の水中を清掃させていただけるようになって参りました。お陰様で、全国各地から社会貢献事業実施へのご要望とともに少しずつ感謝のお言葉を頂戴できるようになって参りました。

市長：それはすごいですね。今回の鳴沢湖のワカサギ卵孵化施設にも多くの釣り人の皆さんにご協力いただいているという事なので、あらためてありがとうございます。

～地元の活性化について～

市長：現在、高崎市では地域経済の活性化へ「^{ぜつ}絶メシ」という取り組みを進めています。これは、高崎市内で、素晴らしくおいし

い絶品を出すお店だけど、実は絶えてしまいうさだ、後継者がいない、そういうお店をリスト化して SNS やネットに出すようにしました。これが大ヒットしまして、大きな経済効果につながったのです。ここにワカサギもぜひ紹介できると良いですね。ワカサギ定食！

一同：それは素晴らしいですね！是非ワカサギを地域活性化の芽としてご紹介いただけると良いですね。釣って食べて地元を盛り上げていく、継続的な事業になっていただけると大変ありがたいです。

市長：地元の特産物ができますね。ワクワクしますね。「鳴沢名物ワカサギ定食」。箕郷町（注：鳴沢湖の地名）の特産の梅と合わせて紹介できるとよいですね。箕郷町に行ったら、ワカサギ料理となるとよいですね。

箕郷支所長：今回のワカサギの孵化施設のご支援を好機として、地域としても取り組みを進めて参りたいと思います。

大村副会長：富岡市長、本日は、貴重なお時間とともに、感謝状を賜りまして本当にありがとうございました。

市長：こちらこそ地域振興に役立つ良い施設を設置いただき、本当にありがとうございました。



ワカサギ孵化器 施設支援 目録授与

全国に広がる感謝の輪

～水中クリーンアップ活動編～

碧い生命の地球、その環境保全を大きな志として、LOVE BLUE事業では、公平性の観点から全国を7ブロックに分け、当工業会実施の客観的なアンケート結果を踏まえ、全国の各都道府県・市町村、漁業者などの皆様からのご要望を基に実施場所の選定を行い、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動を実施させて頂いています。

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動に際しては、陸上と水中の常時無線交信設備を装備するなど、万全の安全管理を徹底し、関係機関への許可・届出・周知等を整えて実施しております。また、回収したゴミは産業廃棄物として責任をもって適切に処分しています。

LOVE BLUE事業で実施する、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は、2013年度の事業開始より2017年に至るまで、5年間累計31道府県 161箇所634日実施しています。

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	149
<中部・北陸地方：20日>			1	3	5	22.5	6	20	5	17	5	22
中部・北陸	愛知県	三河湖	1	3								
		入鹿池			1	5	1	5	1	5	1	3
	富山県	六波寺海岸			1	4	1	3	1	3		
		黒部漁港									1	5
	石川県	名舟漁港			1	3.5	1	3				
		富来漁港			1	5	1	3	1	3		
		安宅漁港			1	5	1	3	1	3	1	5
		前波漁港					1	3	1	3		
福井県	東尋坊・崎漁港									1	5	
岐阜県	長良川									1	4	

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	149
<中国・四国地方：15日>			0	0	5	23	5	15	5	17	5	14
中国・四国	香川県	松山漁港			1	5						
		土庄港					1	3				
	徳島県	那佐港			1	3						
		由岐漁港					1	3	1	3		
	愛媛県	日和佐港									1	3
		佐田岬漁港			1	5	1	3	1	3		
	鳥取県	三机港			1	5	1	3	1	3	1	3
		松山港 (高浜地区)			1	5	1	3	1	3	1	2
	高知県	境港							1	5		
	岡山県	宇佐漁港									1	3
牛窓港										1	3	

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	149
<九州・沖縄地方：15日>			0	0	5	25	5	16	5	21	5	15
九州・沖縄	佐賀県	唐津港			1	5	1	3				
		伊万里港			1	5			1	3	1	3
	長崎県	館浦漁港			1	5	1	3				
		薄香湾漁港					1	2				
	熊本県	生月漁港							1	3	1	3
		八代港			1	5	1	3				
	沖縄県	名護漁港			1	5	1	5	1	5	1	3
		別府港							1	5		
	大分県	吹浦漁港									1	3
		山川漁港							1	5		
鹿児島県	枕崎漁港									1	3	

●富山県
・黒部漁港
(7月9日～13日)

●石川県
・安宅漁港
(6月27日～7月1日)

●福井県
・東尋坊・崎漁港
(7月3日～7日)

●岐阜県
・長良川
(10月3日～6日)

●滋賀県
・山田漁港
(10月17日～21日)
・堅田漁港
(10月24日～28日)
・木浜漁港
(10月31日～11月4日)
・瀬田舟溜
(11月8日～11日)
・針江大川舟溜・新川舟溜
(11月12日～14日)

●岡山県
・牛窓港
(9月25日～27日)

●三重県
・尾鷲港
(11月29日～12月3日)

●京都府
・宮津港
(3月20日～24日)

●和歌山県
・戸坂漁港・シモツピアランド
(11月22日～26日)

●徳島県
・日和佐港
(9月29日～10月1日)

●愛媛県
・松山港 (高浜地区)
(9月15日～17日)
・三机港
(9月12日～14日)

●高知県
・宇佐漁港
(9月20日～22日)

●佐賀県
・伊万里港
(8月27日～29日)

●大分県
・吹浦漁港
(9月6日～8日)

●長崎県
・生月漁港
(8月24日～26日)

●鹿児島県
・枕崎漁港 (9月1日～3日)

●沖縄県
・名護漁港
(6月3日～5日)

プロダイバー水中クリーンアップ 活動地域マップ



●北海道

- ・十勝港 (7月25日～29日)
- ・厚田漁港 (8月1日～5日)
- ・浜益地区 (幌漁港)
(8月8日・9日)
- ・浜益地区 (群別漁港)
(8月10日～12日)

●青森県

- ・高瀬川放水路 (5月23日～25日)

●山形県

- ・鼠ヶ関港 (5月16日～19日)

●宮城県

- ・長沼 (6月20日～22日)

●茨城県

- ・漕沼 (7月15日)
- ・北浦 額賀船溜 (3月4日～8日)
- ・牛久沼 (3月10日～14日)

●千葉県

- ・乙浜漁港 (4月4日～8日)
- ・富浦漁港 (4月11日～15日)

●神奈川県

- ・平塚漁港 本港 (4月18日～22日)
- ・片瀬漁港 (4月25日～29日)
- ・大磯港 (5月9日～13日)

●愛知県

- ・入鹿池
(10月10日～12日)

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	149
<北海道:15日>			0	0	3	15	3	15	4	15	4	15
北海道	道央	小樽港			1	5	1	5				
		浜益漁港							1	3		
		濃尾漁港							1	2		
		厚田漁港			1	5	1	5	1	5	1	5
		浜益地区 (幌漁港)									1	2
		浜益地区 (群別漁港)									1	3
北海道	道東	十勝港北区			1	5	1	5	1	5	1	5

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	149
<東北地方:10日>			0	0	7	24	4	14	3	15	3	10
東北	岩手県	岩洞湖			1	2						
		能代港			1	5						
	秋田県	米代川			1	1	1	1				
		酒田港			1	4.5	1	5				
	山形県	加茂港			1	3.5						
		鼠ヶ関港			1	4.5	1	3	1	5	1	4
	宮城県	仙台塩釜港			1	3.5	1	5	1	5		
長沼										1	3	
青森県		三沢市 高瀬川放水路							1	5	1	3

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	149
<関東地方:35日>			2	9	9	27	9	35	8	32	8	36
関東	群馬県	榛名湖	1	5	1	5						
		土浦市 (霞ヶ浦)	1	4	1	1						
		美浦村 (霞ヶ浦)			1	4	1	3				
	茨城県	阿見町 (霞ヶ浦)			1	3	1	5				
		かすみがうら市 (霞ヶ浦)					1	1				
		土浦市 (霞ヶ浦 大岩田船溜)							1	1		
		鹿嶋市 (北浦 額賀船溜)									1	5
		茨城町 (漕沼)			1	2	1	2	1	1	1	1
		龍ヶ崎港 (牛久沼)					1	4	1	5		
	千葉県	牛久市 (牛久沼)									1	5
		興津港			1	1						
		野島漁港			1	1						
	神奈川県	富浦漁港			1	5	1	5	1	5	1	5
		乙浜漁港			1	5	1	5	1	5	1	5
		茅ヶ崎漁港					1	5	1	5		
神奈川県	平塚漁港 本港					1	5	1	5	1	5	
	片瀬漁港							1	5	1	5	
	大磯港									1	5	

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	149	
<近畿地方:35日>			1	5	7	31.5	7	35	7	33	10	37	
近畿	滋賀県	吉川港 (琵琶湖)	1	5									
		早崎漁港 (琵琶湖)			1	1.5							
		八木浜漁港 (琵琶湖)			1	2							
		南浜漁港 (琵琶湖)			1	5							
		朝妻港 (琵琶湖)			1	3							
		能登川漁港 (琵琶湖)			1	5							
		木浜漁港 (琵琶湖)			1	5						1	5
		北山田漁港 (琵琶湖)					1	5			1	5	
		知内漁港 (琵琶湖)					1	5					
		志那漁港 (琵琶湖)					1	5					
		堅田漁港 (琵琶湖)					1	5				1	5
		長命寺漁港 (琵琶湖)					1	5					
		大溝漁港 (琵琶湖)					1	5					
		宇曾川漁港 (琵琶湖)							1	5			
		出在家舟溜 (琵琶湖)							1	5			
		沖之島漁港 (琵琶湖)							1	5			
		牧舟溜 (琵琶湖)							1	4			
		野村舟溜 (琵琶湖)							1	4			
		針江大川舟溜・新川舟溜 (琵琶湖)									2	3	
	瀬田舟溜										1	4	
三重県	鳥羽港			1	10	1	5	1	5				
	熊野 二木島港							1	5				
京都府	尾鷲港									1	5		
	宮津港									1	5		
和歌山県		戸坂漁港・シモツピアランド								2	5		

全国 **40** 箇所 **149** 日実施 (累計 **634** 日実施)

高知県土佐市 宇佐しおかぜ公園

森・川・海 かがやく未来へ 水の旅

平成 30 年開催

第 38 回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～ 協賛行事として水中クリーンアップ活動を実施！

高知県土佐市宇佐しおかぜ公園にて実施した水中クリーンアップ活動が、同公園にて開催される「第 38 回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～」の協賛行事としてご承認いただきました。社会貢献事業として全国で取り組む、水中クリーンアップ活動

へご理解をいただき、私たちの活躍の場をいただきました。

全国豊かな海づくり大会との連携は、2016年に山形県で開催された第 36 回大会に続いて 2 回目となりました。



「くろしおくん」は、土佐湾を流れる「黒潮の波」をモチーフにした高知県のイメージキャラクター（クジラではありません）



大会の会場となる宇佐しおかぜ公園で水中クリーンアップ活動を実施

福井県坂井市 東尋坊・崎漁港



一般社団法人
坂井市観光連盟
事務局長
石川基重さん



東尋坊観光協会
会長
小南正一さん

LOVE BLUE 事務局 以下、事務局：プロダイバーの水中クリーンアップをご覧いただいてどのような印象をお持ちでしょうか。

石川基重 事務局長 以下、事務局長：本当にありがたいなと思っています。たぶん、海の中は誰もわかっていなかったと思うので。漁業者の皆さんや、海女さんはわかっていらっしやったかと思いますが、観光の観点からすると、見えていなかったことが分かったので良かったです。

事務局：地元の皆さんの東尋坊の海への思いはどのようなものでしょうか。

事務局長：20年前、この周辺でナホトカ号の重油事故があった関係で、海を汚してはいけないという思いは強いです。事故当時、海は真っ黒でした。油の除去作業は半年ぐらいで終了したのですが、風評被害もあって、観光客が減り大変でした。

今は、北陸新幹線の開業もあって、ここ東尋坊が福井県でも最も観光客が多い場所の一つです。

事務局：東尋坊の魅力と LOVE BLUE 事業への印象を教えてください。

事務局長：地元にいるとなかなか分かりませんが、この東尋坊の姿が魅力です。手すりも何もない、自然のままの姿ですね。LOVE BLUE の活動の趣旨はすごくよく、これからも、是非、続けて実施していただきたいですね。これを機に福井県内でも引き続き実施していただけるとありがたいです。

事務局：福井県は、ここ東尋坊と崎漁港が初めての実施となります。ご要望いただきましてありがとうございます。引き続き安全第一で進めてまいります。

事務局長：こちらこそありがとうございます。よろしくお願いいたします。



東尋坊での清掃の様子

LOVE BLUE 事務局 以下、事務局：プロダイバーによる水中クリーンアップをご要望いただきましてありがとうございます。東尋坊での実際の活動をご覧いただいて、どのような印象をお持ちになりましたか。

小南正一 会長 以下、会長：もう、本当にありがたかったですね。観光協会でも、行政と協力しながら清掃活動は定期的に行っていますが、基本的には手の届く範囲で実施しています。水際のところに打ちあがったごみについては回収したことがありますが、海の中は基本的にはないですね。過去一度もなかったのではないのでしょうか。今回のように東尋坊で実施していただけるのは本当にありがたい。

事務局：小南会長の東尋坊に対する思いというのはどのようなものなのでしょうか。

会長：ここは生まれ育った故郷です。そこは誰でも大切な部分だと思うのですが、東尋坊だからこそ、私はこのような仕事が出来ている、させてもらっていると。

ただ生まれ育ったという事だけではなく、生計も立てているという点で、この環境を当たり前と思てはいけない、感謝せなあかんっていう、大切にしていきたいという思いが強いです。

事務局：私たちも社会貢献事業として、プロダイバーの水中クリーンアップ活動を実施しておりますが、ここ東尋坊が福井県下で初めての実施となりますが、国内屈指の観光名所で活動の場をいただくことができました。本当にありがとうございます。

会長：こちらこそありがたいですね。ここ東尋坊は、日本の夕日百選にも選ばれています。9月末から10月の頭の休日に「東尋坊夕陽ハートカクテル」というイベント開催しています。水平線に夕日が沈んでいく、めったに見られない素晴らしい景色なので、観光客の皆さんに大変喜んでいただいています。

事務局：そのような場所でのクリーンアップ活動を LOVE BLUE 事業にご要望いただきましてありがとうございます。

会長：利益の一部を社会に還元していく。このような考え方は我々も見習わなければなりません。よろしくお願いいたします。また、ありがとうございます。

徳島県海部郡美波町 日和佐港



徳島県美波町産業振興課
課長
小坂進さん

小坂進 課長 以下、課長：潜っていただけるだけでもありがたいのに、教育的な取り組みもやっていただけ。これはものすごくありがたいです。思ってもなかなかできないのですよ。

小島忠雄 委員長 以下、委員長：ありがとうございます。やっぱり、自分の目で見てみると、ああ、こういうことをしてはいけないなということより分かっていただいて、前回の由岐小学校の実施の際も、児童の皆さんが自宅に帰り、両親に伝えますという話をされていました。大人も子どももごみを捨ててはいけないとっていただけることがありがたいですね。

課長：誰かが捨てないとごみはあるわけなのですが。誰かが捨てているわけですね。水の中だけではなく、道路沿いとかも。車から空き缶・瓶を投げ



美波町立日和佐小学校
校長
大西育郎さん

小島忠雄 委員長 以下、委員長：今回お邪魔させていただいたこのLOVE BLUE事業ですが、清掃を行ったり、放流を行ったりしているわけですが、釣り人の皆さんに釣り具を買っていただき、その売り上げの一部を釣り具メーカー等から、弊会へ拠出していただいた浄財を基に、全国公平に地球の未来の為になるよう取り組みを進めていくという事業になります。

大西育郎 校長先生 以下、校長：すごく良い取り組みですね。子どもたちが興味をもつというか、それこそ環境教育と直結しているような印象があります。

委員長：海や川をきれいにする活動の一環として、本日のように、水中清掃の現場をご見学いただけるのは、学校教育と連携できることなので、私どもも大変光栄です。

校長：実際に体験する、見てみるの方が子どもの心に残

捨てたり。通学路がそばのところもあり、児童にあたれば、ケガや当たり所によっては大変なことになります。

委員長：そうですね。周りの人たちが注意し合うことで、少しずつ良くなるのではないのでしょうか。

課長：子どもたちが気づいてくれることで、大人になった時にも、してはいけない事として心に残りますから。子どもたちに水中清掃活動を見てもらうことは非常に重要だと思います。

委員長：前回この環境教育授業を受けていただいた児童の皆さんが、私たちにお手紙をくださいました。この手紙を、釣り人の皆さんや、LOVE BLUE 事業にご参加いただいている企業の皆さんにご覧いただけるようにしたところ「大人が襟を正さなければいけないよね」「大人がちゃんとしなければだめだよ」と様々ご意見をいただきました。今夏の環境教育授業でも、児童の皆さんにプロダイバー水中クリーンアップ活動をご覧いただくことで、何か気づいて下されば大変よいと思っています。

お時間をいただきましてありがとうございます。

課長：こちらこそありがとうございました。

ると思います。子どもたちが自分なりに感じたことが将来何か役立つことがあればそれで良いと思います。見て、聞いて、感じた事を大切にしたいと考えています。

委員長：自分自身の実践として活用していただけるとありがたいです。そして少しでも今回の水中クリーンアップ活動をご覧いただいた印象が児童の皆さんの心の中に残ってもらえれば本当に良かったと思います。昨年実施した由岐小学校の児童の皆さんも、「港にそんなものが落ちているなんて信じられない」「こういうことをやってはいけない。お父さんお母さんにも言うんだ」と話してくれました。

校長：私も水の中がどうなっているのかすごく興味があります。子どもたちも何か感じてくれれば良いかと楽しみにしています。

委員長：そのような印象は、心の中にずっと残っているものですね。

校長：残っています。口で「海の中は汚れています」といっても、「えっ」て思うだけでしょうから。LOVE BLUE 事業で、今回の環境教育授業を実施して頂きありがとうございます。よろしく願います。

委員長：こちらこそよろしく願います。

水中クリーンアップ活動は教育の現場でも お役立ていただいています。

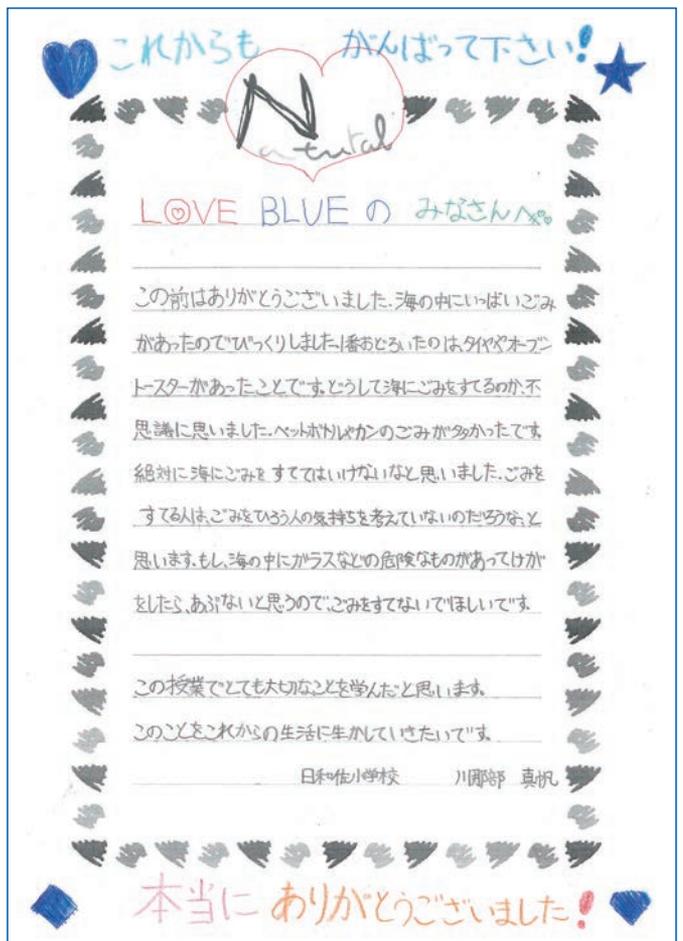


～「地球の未来を」みんなで地球の環境を一緒に守っていきましょう～

小島忠雄委員長 以下、委員長：世界は海でつながっています。どこかへ行っちゃうからではなく、ごみはきちんと決められたところに捨てる。自分たちがちょっと気を付ければ、世界中の海がきれいになります。「地球の未来を」みんなで一緒に守っていきましょう。ぜひこのことを覚えていただいて、ご家族の皆さん、お友だちにも伝えてください。

児童：授業を聞いて、映像を見て海の中にごみがあることが分かりました。ごみは、決められたところに捨てなければいけないと思いました。

委員長：そうですね。今日、掃除をすればそこからごみが無くなり、次から捨てないようにすればそこはきれいになるわけですね。ぜひ一緒に地球の環境を守っていきましょう。



日和佐小学校 5年 川那部 真帆さん (当時)

茨城県 霞ヶ浦・涸沼・牛久沼

茨城県との連携

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は、これまで茨城県において霞ヶ浦、涸沼及び牛久沼において、事業を開始した2013年から累計9か所57日間実施させていただきました。霞ヶ浦においては、霞ヶ浦問題協議会（中川清 会長・土浦市長）が主催する、霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦の皆さんと連携し、涸沼における水中クリーンアップ活動は、クリーンアップひぬまネットワーク（谷萩八重子 会長）の皆さんと連携して行っています。特に涸沼では、プロダイバーの水中クリーンアップ活動がラムサール条約登録の一助となり、また牛久沼の清掃については、中山一生 龍ヶ崎市長を表敬訪問し、市長より清掃について感謝の言葉を頂戴しました。



写真左 中山一生 龍ヶ崎市長
写真右 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



涸沼では、陸上清掃を行う地元の皆さんと意思を共有しながら清掃を行っています。

第17回 世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦 2018)開催記念 第89回 霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦と連携

当日ご参加の52団体の皆さんによる陸上清掃活動（メイン会場：鹿嶋市津賀城址公園周辺）に合わせて、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動はメイン会場に隣接する額賀船溜で実施いたしました。

※世界湖沼会議とは研究者・行政担当官・NGOや市民等が一堂に集まり、世界の湖沼及び湖沼流域で起こっている多種多様な環境問題やそれらの解決に向けた取り組みについての議論や意見交換の場となっており、本年は茨城県が会場となっております。

(茨城県ホームページより引用 <https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/kantai/kosyou/wlc.html>)



左より 中川清 土浦市長・霞ヶ浦問題協議会会長
中央 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長
右 錦織孝一 鹿嶋市長



額賀船溜では、陸上清掃を行う地元の皆様とともに、プロダイバーは船溜内の水中を清掃いたしました。

全国に広がる感謝の輪

～地球環境基金 企業協働プロジェクト編～

LOVE BLUE 助成

LOVE BLUE助成団体

2015年度	
香川県	NPO アーキペラゴ
群馬県	NPO 浅間・吾妻エコツーリズム協会
東京都	NPO 荒川クリーンエイド・フォーラム
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
香川県	海守さぬき会
東京都	(一社) JEAN
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ
2016年度	
島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
広島県	NPO 自然環境ネットワークSAREN
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ
2017年度	
島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やったろうde高島



ジャパンフィッシングショー 2018 メインステージでの講演の様子

独立行政法人環境再生保全機構 理事長 福井光彦さん ～ LOVE BLUE 助成は企業協働プロジェクト第一号として理想的な連携に昇華～

LOVE BLUE 事務局 以下、事務局：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金さんとの企業協働プロジェクトとして、全国初の冠助成事業としてスタートさせていただいてお陰様で3年目を迎えることが出来ました。この間、LOVE BLUE 事業と想いを同じくする、全国各地の環境保全団体の皆様の活動を、LOVE BLUE 助成を運営される地球環境基金さんを通じて、全国の釣り人の皆様とともに応援させていただくことができました。あらためて心より御礼申し上げます。

各団体の毎年の活動は多岐にわたり、多くの方々を巻き込んだ社会貢献事業として、大変なご苦労を積み重ねながら、各地で社会的にも高い評価を受けていらっしゃる、本当に素晴らしいと思います。

私たちも、LOVE BLUE 助成として支援させていただくと同時に、助成団体さんからも力をもらっている、そのような連携をさらに広げられればと思っています。

福井光彦 理事長 以下、理事長：私たち地球環境基金は、企業協働プロジェクトとして第1号に一般社団法人日本釣用品工業会さんにご参画いただいて、非常に感謝しておりますし、企業・団体の皆さんと連携し一緒になってプロジェクトを進めていく理想的な形になっていると思います。

事務局：ありがとうございます。その形のひとつとして、LOVE BLUE 助成をお受け頂いている各団体の皆さんに、当工業会が主催する4万人を超える来場者のあるジャパンフィッシングショーのメインステージで毎年、活動報告会を実施させていただいております。助成団体の皆さんからも大変好評で、LOVE BLUE 助成を支えている、大勢の来場者・釣り人の皆さんの前で日頃の活動と感謝を発表できる貴重な機会だとお喜びをいただいております。これからも地球環境基金さんをはじめ、全国各地のNPO・NGO等の皆様との連携を深化しながら、地球の未来のために、企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成がさらなる発展をするよう、是非お力添えをお願いします。

理事長：今後ともぜひ、地球環境基金と日本釣用品工業会さんとでご相談しながら一緒にやっていきましょう。よろしくお願ひします。

事務局：ありがとうございます。こちらこそよろしくお願ひします。

ジャパンフィッシングショー 2018 in YOKOHAMA の活動報告会にて

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 ～ LOVE BLUE 助成は、中期的な計画を立てられることで、活動の質が高まり助成団体の皆さんに喜んでいただいています～

地球環境基金課 坂本雅洋さん：LOVE BLUE 助成の場合、最大で3年間の助成を受けることができますので、助成団体の皆さんにとっては中期的な活動計画がより主体的に立てられます。これは中期的な団体の活動の基盤形成に大変役立っていると伺っています。

3年間何をしていくのかを計画できること。これは活動自体の質が高まるポイントにもなっています。その意味でも LOVE BLUE 助成は地球環境保全活動に大きく貢献していると思います。



地球環境基金 坂本雅洋さん

NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海 ～活用の幅が広い LOVE BLUE 助成に感謝～

金田直之 専務理事：ジャパンフィッシングショーのメインステージで大勢の釣り人の皆さんの前で LOVE BLUE 活動報告をさせていただいたわけですが、環境保全活動について皆さんに関心を深めていただきたいと思います。このような場を継続していただけるのが大切だと思います。

LOVE BLUE 助成2年目ですがすごく助かっています。特に LOVE BLUE 助成に関わる事務員の賃金にも助成金が活用できることがありがたいです。本当に助かるし、そのように思っている団体さんはたくさんあると思いますよ。

もともと私たちの応募のきっかけは、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金の助成事業としてスタートしたのですが、その地球環境基金さんの助成メニューの中に LOVE BLUE 助成を見つけたところからです。NPO の組織を継続していくためには、活用の幅が広い LOVE BLUE 助成をぜひ受けたいと思いました。私達は、釣り人の皆さんやメーカーさんの環境保全に対する思いには、本当に感謝しております。本当にあ

りがたいです。今日フィッシングショーに来て、あらためて実感できましたし、このステージで私たちの活動報告を行ったことで皆さんのご支援をさらに実感しました。

活動頑張ります。ありがとうございました。



専務理事 金田直之さん

一般社団法人ふくおか FUN ～ LOVE BLUE 助成のおかげで事業の安全性を高められました。同じ水辺のレジャーとしてこれからも協力ができるように～

大神弘太郎代表理事：LOVE BLUE 助成を受けるまでは、私たちのダイビングの世界と釣りとは相反する部分が多いのではないかと考えていました。釣りは魚を「捕る」、でも私たちは、魚は「捕らず」に「撮る」(写真撮影)のみなんです。魚に触れるとか、傷付けるといったことに対して、アレルギー反応があったりする方もいます。

ただ、LOVE BLUE 助成を受けることで、先ほど島野会長とも会場内でお話をさせていただいたのですが、もっと広く、多面的な物事のとらえ方があることを私たちも気付くことができました。フィッシングショーで活動報告をさせていただくことで、レジャーとしての釣りが、大きな市場になっていることも分かり、水辺についてはダイビング以外の考え方もあることが再認識できました。

そのうえで融合していくことも考えていくと、海は結局みんな一緒じゃないですか。

海が好きで、何かをする種目が違うだけという認識で考えることで、様々なアプローチがあります。例えば、私たちは水中から魚の様子を見ることが出来ます。釣りにそれを生かしていくことが出来れば、その魚の生態とか動きとかを見ることが出来て、釣りがもっと面白くなるかもしれません。お互いの協力関係がもっと生まれてくれば、海を通したレジャーの発展にもつながりますし、お互いのネットワークを活用することで、より多くの人に海の魅力を伝えることもできます。

LOVE BLUE 助成による活動の広がりという点では、器材の充実が出来ました。子どもたちを受け入れるというのは、高い安全性に配慮しなければなりません。特に私たちは、海でスノーケリングをしますので、助成を受けて充実した器材によって、より安全性を高めることができるようになりました。

本当に感謝の一言です。また、LOVE BLUE 助成については、人件費の助成を受けられることも大きいですが、私たちの活動を支えているダイバーはプロなのですが、ノウハウとか技術とかを今までは無償で提供してもらっていました。対価をお渡しすることは、スタッフの充実においても非常大きな効果があります。ダイバーが有償になるとボランティアでなくなる、という方もいらっしゃいますが、むしろそれにより、まさに質の高いサービスを参加者に対して提供できます。私たちもプロフェッショナルとしての志がありますので、成果に対しての対価というものは、必要不可欠なのではないかと思えます。

最後になりますが今日フィッシングショーに来させてもらっているいろいろな人たちを引き付ける魅力がここにはあると感じました。私たちもダイビング産業を発展させていくことにも寄与したいと考えていますので、大変勉強になりました。フィッシングショーのメインステージでの活動報告の場をいただき、ありがとうございました。



代表理事 大神弘太郎さん

NPO 未来の荒川をつくる会 ～「継続は力なり」、LOVE BLUE 助成で活動を推進。ごみが減って行くことを実感～

河野芳樹 清掃隊長：私たちの活動は、人数が多くなっていますので、LOVE BLUE 助成は装備品の調達に活用させていただいています。絶大なるご支援をいただきました。私たちは、5本の川を11回に分けて清掃しています。要するに1年に1回しか同じ場所を清掃できないのです。なので土手にごみの花（事務局注：土手沿いにごみがたまっている様子）が清掃前に咲



清掃隊長 河野芳樹さん

いていることが多かったです。でも、活動を続けてきたことで、最近、ごみの花が咲かなくなってきました。まさに「継続は力なり」ではないかと思っています。

これからも頑張ります。ありがとうございました。

やっつろう de 高島 ～海の中を見てもらうと、ごみがあったら拾うという意識が生まれる～

小村秀蔵さん：私たちの活動を LOVE BLUE 助成としてご支援いただいている釣り人の皆様へ、私たちの活動を発表できるというのは、非常に価値のあることだと思います。私たちの活動は、皆さんのご支援、ご協力で成り立っていますということをお伝えするだけでも意義があることと考えています。私たちの活動は、地元長崎県だけではなく県外からも多くの方にご参加いただいています。活動にご参加いただく皆さまにはシュノーケリングをしていただくわけですが、活動に参加されたことをきっかけに、自分の住んでいるところ以外の海の中でもごみを見つけたら、拾おうとしてくれます。これはありがたいですよ。

ごみを出さなくなり、そしてごみを拾っていただけるようになる。海中のごみを拾うのは難しいのですが、活動を通してダイビングのスキルを上げてもらいごみを拾うことが出来るようになっていただいています。自分のダイビングのスキルアップと環境に対する貢献の二つを同時にやっています。

お子さんにも参加していただいている、親子で一緒に海のこと、魚や海藻などの生物を総合的に楽しく学んでもいただいています。

大事なことは自然と接するときの意識改革だと思うのです。

海の中でごみを拾うときは普通の軍手や手袋では危ないので特別な手袋が必要なのです。LOVE BLUE 助成をいただいたおかげで、安全第一で作業できるようになるのは大変ありがたいです。また、広報活動を充実させるのもありがたいです。海の中の清掃は見えないですからなかなか助成の対象になることがないのです。だから本当に LOVE BLUE 助成はありがたいのです。



事務局 小村秀蔵さん

島根県

NPO

アンダンテ 21

協働と次世代育成をめざした
水環境保全プロジェクト

島根県益田市の海岸線を舞台に、協働と次世代育成をめざした水環境保全活動を実施しています。清掃活動と自然・環境教育を統一させた野外イベントを学校や地元組織とともに開催、さらに環境教育・啓発活動等を行いながら、地域の水環境保全のプレイヤーとなる次世代の育成に取り組んでいます。



当法人は益田市を流れる「高津川」を中心とした水環境保全とまちづくり活動を行ってきましたが、LOVE BLUE 助成のおかげでその活動範囲を海を含む多くのエリアに拡大することが出来ました。



理事長 渡邊 勝美さん

また、資金源の課題があった小学校等での環境教育にも積極的に取り組むことができるようになり、当地の環境保全を担うひとつづくりが進んでいます。

岐阜県

NPO

いびがわミズ
みずエコステーション子どもたちに夢を与えるクリーン大作戦、
環境塾、アースデイいびがわ

揖斐川流域クリーン大作戦：毎年ゴミゼロの日に近い5月最終土曜日に実施し、ゴミ拾いと水質検査、鮎の放流などを行っています。いび地域環境塾：揖斐郡三町の小学生以下の親子を対象に環境にかかわる体験講座を年間を通じて実施しています。アースデイいびがわ：地産地消やフェアトレードをテーマとして毎年10月に青空市場やお茶漬け選手権、体験講座、パネル展示、ステージイベントなどを行っています。



LOVE BLUE 助成を受けたことにより、臨時職員を雇うことができ、NPO や企業、団体、行政などとの協働に向けた動きをしっかりと行うことができました。



理事長 中村 賀久さん

人と人とのつながりの大切さを実感させていただきました。趣旨をご理解いただき助成いただいたステークホルダーの皆様方に感謝申し上げます。

岡山県

NPO

グリーンパートナー
おかやま海ごみから流域環境を考える
プロジェクト

海ごみの問題を広く県民に啓発するために、環境大臣をお迎えし「里海シンポジウム」を開催しました。また、「海底ごみ」を、底引き網漁船で引き揚げ「見える化」し、ワークショップで考える体験学習「海底探検隊2017」や川ごみの調査を行う「川ごみ探偵団」、河川敷の清掃を行う「クリーンアップ大作戦」を行いました。



LOVE BLUE 助成をいただいたことによって、シンポジウム・底曳網体験学習・河川ごみ調査と「山～川～海」をつなぐ一連の啓発事業を行うことが出来ました。このため多くの皆様に「海



理事長 藤原 瑠美子さん

ごみ問題」を身近なこととして実感していただきました。この助成を通じて支えてくださった全国の釣り愛好家の皆様、釣り用品関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

山形県

NPO

公益のふるさと創り
鶴岡

鶴岡市内川の藻刈りプロジェクト

鶴岡市内を流れる内川に夏の間繁茂する、藻を刈るボランティアを編成し、市民参加型の内川の環境保全活動を進めていくことを行いました。



内川の藻刈りは専門にやっていたおじいさんが一人で行っていましたが、4年前にお亡くなりになりました。その後、



代表理事 風間 富士子さん

当団体が支援しながら細々とは行ってきましたが、この助成により市民活動プロジェクトを立ち上げることができました。

石川 県

NPO

能登半島
おらっちゃんの里山里海

能登の“里海”文化の継承と保全

事業2年目の今年は、市内小学校との連携を強め、「知る」「守る」活動となる海岸清掃活動を計4回実施できました。里海保全に関連する里山保全（植樹）活動も併せて実施しており、300人以上の参加がありました。渚あそびや釣りなど里海を「楽しむ」活動も継続して実施し、お魚ワークショップなどの開催によって海の恵みについても理解を深めることができました。



能登半島先端域にあって、これまで当たり前であった住民の“里海”とのかかわりが少なくなってきた状況の中で、今回の LOVE BLUE 助成を受けたことによって、多くの市民や子供たちに“里海”とのかかわりの重要性とその魅力が伝えることができました。渚で遊ぶ子供たちの表情は活き活きとし、海外からの漂



理事長 加藤 秀夫さん

着ごみを集め分別するときには、興味深げな表情を浮かべていました。三方を海に囲まれた半島先端域の先人たちが、里海とともに暮らし、築いてきた文を未来に伝承するためにも、今回の事業は有意義でありご支援いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

福岡 県

一般社団法人

ふくおか FUN

“ひろい”海の活動

子ども達がスノーケリング体験を通して福岡の水中世界に生息している生き物や水中ごみの存在に気づき、生物多様性や海の環境問題を考えることで、持続的かつ自発的な行動に繋げていくことを目的としたプログラムです。



LOVE BLUE 助成を受けたことにより参加者の受入れ人数が増え、それに伴いメディアの出演も増えました。新聞や地方雑誌だけでなく、九州地



代表理事 大神 弘太郎さん

方で放送されるニュースでの特集や、福岡地方の環境特番(KBC テレビ・「水と緑の物語」)等に出演しました。

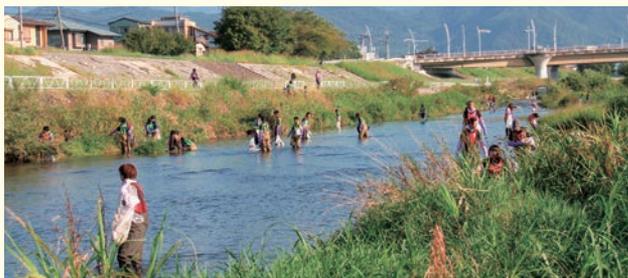
山 梨 県

NPO

未来の荒川をつくる会

名勝・昇仙峡から甲府市を縦貫する
荒川及びその支流の河川清掃

甲府市民の生活を支え、憩いの場でもある荒川の清流を守り自然と人が共生する社会の一翼を担いたいと活動しています。毎月1回約100人が参加して河川内外の清掃を行うほか、子供たちが川の大切さを学ぶ「水辺楽校」を開催しています。



清掃活動が90回を超え、人口かいしやに膾炙するとともにボランティア参加者が増え胴長靴、刈り払い機などの装備の不足に悩まされていたが、LOVE BLUE 助成により、徐々に充足されつつある。また、清掃の責任者は、環境保護活動に貢献した人に贈られる山梨県制定の賞の受賞候補となっている。こうした成果も LOVE BLUE 助成の賜物と感謝している。



会長 飯野 正久さん

長 崎 県

やったろう de 高島

珊瑚ツーリズムの創造

- ・海浜海中の清掃活動 長崎市高島町（軍艦島に最も近い有人島）の海水浴場ビーチの清掃。シュノーケリングによる海中清掃活動
- ・啓蒙活動 地域の小中学校生および教諭と父兄を対象に出前環境保全講習を実施。海浜清掃の実践とお礼としてシュノーケリング体験メニューの提供をおこなった。
- ・珊瑚ツーリズムの創造活動 環境エコポイント制度の導入し海中清掃を実践した体験者のレベルアップと体験回数をカウントし無料体験提供に繋げた。



「LOVE BLUE 助成」を受けた事で生じた効果と成果
ソフト面の効果：地域住民、学校関係者、他の環境保護団体に対して、活動内容の信頼性を生み出す効果があった。
ハード面の効果：器材購入で、保全活動の時間的、労力的問題の劇的解決に繋がった。

※最大の効果：活動を推進していく上で、LOVE BLUE が私達にとってのステイタスとなった。幟や横断幕を見た会員や参加者は誇りを持って活動に当たっていた。結果的に、人材育成の一翼を担った。LOVE BLUE 事業にご参加・ご協力されている皆様に、心から感謝すると共に、御礼申し上げます。



事務局長 小村 秀蔵さん

専門機関と連携した放流

～放流事業の全国展開へ～



第3回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議・平成29年度栽培漁業推進全国会議（東京都千代田区 コープビル）

2013年4月の事業開始より2017年度まで、専門機関と連携した放流事業として、公益財団法人神奈川県栽培漁業協会へ事業委託し、釣り人の皆様に喜んでいただけるよう、毎年マダイ稚魚を神奈川県側の東京湾へ20万尾（5年間累計100万尾）放流すると共に、漁獲・釣獲の面から放流効果調査も進めて参りました。

この公的栽培機関と連携した5年間の放流事業の実績から「一定の海域・資源量を基礎にした放流量の指針」を得るとともに、栽培養殖に関わる公共機関との信頼関係を醸成することが出来ました。

このような背景を基礎に、2018年度から、全国各地の公的栽培機関との連携・協力体制を構築しながら、一定の海域・資源量等を踏まえた、『釣り人の皆様に喜んでいただける、釣りに利活用できる魚種』の放流を各地で進めて参りたいと考えています。

そのため、まずはこれまでの実績と信頼関係を基に、2017年度内に、栽培事業に関する中央団体である「公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会」へLOVE BLUE事業へのご協力を依頼させていただき、そして、2018年1月30日に開催された、第3回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会・平成29年度栽培漁業推進全国会議の場で、各都道府県の水産担当者や栽培機関の方々へ、2018年度からのLOVE BLUE放流事業へのご協力をお願いをさせていただき、早速各地からLOVE BLUE放流事業への協力のお声をお寄せいただいています。

2018年度には全国各地の専門機関である公的栽培機関と連携をしながら、LOVE BLUE事業の放流事業は徐々に全国展開して参ります。

放流に関する漁業者、釣り人の声をお届けします。

2017年4月21日 釣獲調査にて

<釣り人の皆さん>

- 東京湾のマダイの放流は知っているよ。放流マダイと天然マダイの違いは、鼻の形で見分けるんだよね。
- マダイが釣れるのは、放流のおかげだったんだね。だからこうしてマダイ釣りが楽しめるんだね。
- シーズン中は週1回のペースで（神奈川県横須賀市）久里浜沖（LOVE BLUEの放流地点）にマダイ釣りに来ているよ。「放流か天然か」あまり気にしないよ。マダイが釣れ、楽しめることが大事なんだよ。

<漁業者・遊漁船・釣り船店の皆さん>

- 横須賀市東部漁業協同組合久里浜支所長 鈴木良司さん

「久里浜で遊漁船をやっている釣り船店はすべて、真鯛を放流していることに感謝しています。自然の営みだけを頼りにした天然マダイだけでは、遊漁船は成り立ちません。久里浜沖にはマダイがいる。そういう風にみんなが認識できる状況がずっと続いていることがすごいことなんだよ。」



- 同 元支所長 榎本峯男さん

「久里浜の遊漁船は、LOVE BLUE 事業が毎年久里浜沖に放流していることにとても感謝しているし、ありがたいと思っています。」



放流マダイと天然マダイ

放流マダイは、ほとんどの個体で、本来は片側に2つある鼻の穴が「鼻腔隔壁（びくうかくへき）の欠損」により、つながった状態になっています。これを目印に、漁業や釣り上げたマダイのウロコ等から年齢を調べています。

天然マダイ等では、鼻の穴は片側に2つあります。



放流マダイ



天然マダイ

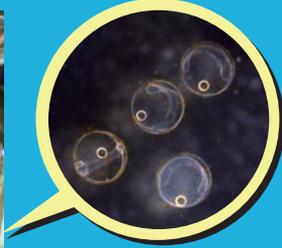


専門機関と連携した放流事業の流れ

1. 海に出るまで



(公財)神奈川県栽培漁業協会の施設内の大型円形水槽で孵化及び育成



孵化後 1 週間



孵化後 5 週間

2. 海での育成



円形水槽から海に設置された網イケスへ移動



定期的なイケス網を交換し、防鳥ネットを使い外敵からまもる



放流前に全長や重量、鼻腔隔壁の欠損等を調べる



約 2 ヶ月で約 60mm へ成長

3. 放流作業



活魚運搬船へ移動し東京湾口へ



放流地点よりマダイを放流



市場調査



4. 調査



遊漁船調査



これまでの知見をまとめた報告書

放流で東京湾口へ旅だったマダイ達は
約 3 年で約 30cm
まで成長すると見込まれています

II



(公財) 日本釣振興会

- ・ 水中清掃
- ・ 放流事業
- ・ マナー看板設置事業
- ・ 防波堤開放事業

水中清掃事業



(公財)日本釣振興会として 2017 年は 36 回の水中清掃を実施しました。2017 年は台風が多かったこと、清掃予定地が耐震工事等で立入できなかった等の理由で、2016 年より 6 回少ない 36 回となりました。36 回のうち 31 か所は海底、5 か所は湖底でした。ダイバー 588 名、陸上・船の手伝いが 543 名、合計 1,131 名の協力を得て清掃活動は実施されました。このうちつり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業の受託事業としての水中清掃は 19 回でした。

毎年多くの方の協力を得て実施している水中清掃ですが、2017 年も海をつくる会、(一社)ブルーエコ協議会、(一社)日本レジャーダイビング協会はじめ、多くの学校、NPO 法人、団体、ダイビング関係者、釣り関係者、地元漁業協同組合の皆さんにお手伝いいただきました。

2017 年もたくさんの方に協力していただきました





神奈川県真名瀬漁港

参加人数 31名



この場所での水中清掃は初めて。釣り人が多く、釣り具も多数回収されました。

高知県竜の浜漁港

参加人数 31名



自転車、エアコン室外機、タイヤ、掃除機、小型発電機等投棄されたゴミが多く揚がりました。

兵庫県東二見防波堤

参加人数 25名



毎年地元の釣りクラブチームアイランズのメンバーに陸上班として協力いただいています。

静岡県田子港

参加人数 33名



毎年サンゴに絡んだエギを回収していますが、年々エギの数は減ってきています。

大阪府西鳥取漁港

参加人数 23名



前日からの強風と堆積したヘドロで視界が悪く、小さいゴミは見えず大きなゴミを中心に回収しました。

静岡県仁科漁港

参加人数 33名



釣り場として有名ですが、釣り具は少なく台風時に流された下水溝の蓋や鉄片が多く揚がりました。

愛知県新舞子マリパーク

参加人数 22名



海釣り施設のため、根掛かりした釣り具が多く回収されました。

和歌山県見老津漁港

参加人数 32名



漁協の組合員さん、町会議員さん、NPO 法人の方等 19 名が陸上班として参加してくれました。

山梨県山中湖

参加人数 34名



桟橋周辺からは多数のタイヤが回収されました。毎年 53pick-up 山中湖のメンバーが陸上班として参加してくれています。

和歌山県田子の浦

参加人数 29名



この清掃に関西大学の学生 23 名（ダイバー 13 名、陸上 10 名）が参加してくれました。

静岡県福浦堤防

参加人数 27名



下田港内の有名な釣り場で、今回が初めての清掃でした。防波堤から落ちたサオ、椅子、ビニールバケツ等が多く揚がりました。

京都府竜宮浜漁港

参加人数 34名



京都府磯釣連合会、全日本釣り団体協議会京都府支部に協力していただきました。

神奈川県小田原漁港

参加人数 19名



昨年に続き今年も海底のロープや漁網片に絡んだ釣具が多く回収されました。

山梨県河口湖

参加人数 37名



だいぶ減りましたが、まだワームが回収されます。

和歌山県雑賀崎漁港

参加人数 47名



和歌山市、あおりねっと、和歌山県釣連盟、わかやま連遊会の皆さんに協力して頂きました。

神奈川県湘南港

参加人数 24名



1年中釣り人が絶えない釣り場で、当日も100名以上の釣り人がいました。釣り人が多いため、釣り具も多く回収されました。

山梨県精進湖

参加人数 34名



精進湖は日本へら鮎釣研究会のホームグラウンドで、今年も遠藤理事長はじめ、山梨地区のメンバーに協力して頂きました。

三重県吉津漁港

参加人数 44名



11月に入るとカマスの群れが港内に入り、絶好の釣り場となる場所とのことですが釣具は少なかった。

神奈川県江之浦漁港

参加人数 22名



4月に清掃場所の近くに設置したアオリイカの産卵床には大量の産卵が確認されました。

回数	実施日	実施場所					参加人数		
		県名	場所名			ダイバー	陸上・船	合計	
1	4月30日	神奈川県	真名瀬	漁港		21	10	31	
2	5月13日	高知県	竜の浜	漁港		10	21	31	
3	5月24日	兵庫県	東二見	防波堤		11	14	25	
4	5月27日	静岡県	田子	港		21	12	33	
5	6月3日	大阪府	西鳥取	漁港		7	16	23	
6	7月1日	静岡県	仁科	漁港		18	15	33	
7	7月9日	愛知県	新舞子	マリナーパーク		10	12	22	
8	7月22日	和歌山県	見老津	漁港		12	20	32	
9	7月29日	山梨県	山中	湖		12	22	34	
10	8月19日	和歌山県	田子の浦			17	12	29	
11	9月2日	静岡県	福浦	堤防		14	13	27	
12	9月2日	京都府	竜宮浜	漁港		24	10	34	
13	9月21日	神奈川県	小田原	漁港		14	5	19	
14	9月24日	山梨県	河口	湖		28	9	37	
15	9月24日	和歌山県	雑賀崎	漁港		18	29	47	
16	9月30日	神奈川県	湘南	港		14	10	24	
17	10月10日	山梨県	精進	湖		9	25	34	
18	10月18日	三重県	吉津	漁港		16	28	44	
19	11月3日	神奈川県	江之浦	漁港		18	4	22	
			合計			294	287	581	

2府8県 19回実施 581人参加

放流事業

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業の資金を使用した放流は 2017 年で 3 年目となりました。同じ魚種を同じ場所で 3 年間継続して放流するよう各支部にはお願いしてありました。放流の効果についての調査等はできていませんが、釣り人、漁協、遊漁船、釣具店からは魚が増えた、よく釣れるようになった等の声を多く聞くようになりました。放流場所や魚種によっては放流の効果を把握することが難しいケースもありますが、放流を継続することにより、少しでも魚が増えることで釣り人増につながることを期待しております。

兵庫県神戸市 他2ヶ所

マコガレイ



香川県高松市 観音寺港

カサゴ



愛媛県伊予市 森漁港 他1ヶ所

カサゴ



高知県高知市 浦戸 他1ヶ所

カサゴ



徳島県徳島市 津田一文字防波堤周辺

カサゴ



愛知県知多市 新舞子マリナーパーク

メバル・カサゴ



静岡県伊東市 伊東港

メバル



宮崎県宮崎市 みやざき臨海公園

ヒラメ



鹿児島県鹿屋市 古江港 他1ヶ所 マダイ



新潟県柏崎港西防波堤

ヒラメ



神奈川県横須賀市 海辺つり公園 他1ヶ所 メバル



和歌山県美浜町 美浜漁港 他1ヶ所 クロダイ



北海道渚滑川

ニジマス



新潟県新潟東港

クロダイ



京都府舞鶴港一帯

クロダイ



宮城県塩釜市 まがき港

マダイ



石川県金沢市 他3ヶ所

クロダイ



静岡県焼津港ふいしゅーな

クロダイ



栃木県 8河川

ヤマメ発眼粒



北海道旭川市 藤沼 他7ヶ所

ヘラブナ



山梨県甲府市 笛吹川水系

アマゴ



東京都葛飾区 水元公園

ギンブナ



埼玉県北本市 北本総合公園

ギンブナ



沖縄県宜野湾新漁港

ハマフエフキ



東京都奥多摩町 小菅川

ヘラブナ



群馬県みどり市 鹿の川沼

ヘラブナ



愛知県落合池 他3ヶ所

ヘラブナ



滋賀県守山市 他2ヶ所

ヘラブナ



千葉県印旛新川

ヘラブナ



3,608kg, 83,600粒,
139,550尾 放流実施

地区支部	放流場所	実施日	魚種	尾数・kg・粒
北海道	渚滑川	8月6日	ニジマス	120kg
	旭川市藤沼他7カ所	10月8日	ヘラブナ	1,400尾
宮城	塩釜市まがき港	9月7日	マダイ	4,700尾
神奈川	横須賀市海辺つり公園・新安浦港	7月23日	メバル	4,600尾
山梨	甲府市笛吹川水系	10月5日	アマゴ	600尾
埼玉	北本市北本総合公園	10月13日	ギンブナ	75kg
	桶川市川田谷沼	10月22日	ヘラブナ	240kg
	鴻巣市明秋・釜虎	11月19日	ヘラブナ	340kg
東京	葛飾区水元公園	10月13日	ギンブナ	75kg
	奥多摩町小菅川	11月17日	ヘラブナ	500kg
群馬	みどり市、鹿の川沼	11月4日	ヘラブナ	124kg
栃木	県内8河川	11月8日~15日	ヤマメ発眼粒	83,600粒
千葉	印旛新川	12月3日	ヘラブナ	538kg
静岡	伊東市伊東港	6月22日	メバル	2,200尾
	焼津港ふいしゅーな	9月25日	クロダイ	2,000尾
愛知	知多市新舞子マリンパーク	7月9日	メバル	1,275尾
	知多市新舞子マリンパーク		カサゴ	1,275尾
	落合池・東谷山池・水広下池・まむし池	10月25日	ヘラブナ	651kg
三重	鳥羽市畔蛸町	7月21日	ヒラメ	3,200尾

地区支部	放流場所	実施日	魚種	尾数・kg・粒
岐阜	美濃市片知川	3月5日	アマゴ	60kg
	本巣市根尾川	3月22日	アマゴ	60kg
石川	金沢市・小松市・珠洲市・七尾市	9月4日	クロダイ	42,000尾
新潟	柏崎港西防波堤	8月5日	ヒラメ	5,000尾
	新潟東港	8月29日	クロダイ	7,000尾
和歌山	美浜町美浜漁港・由良町戸津井	8月21日	クロダイ	6,000尾
京都	舞鶴湾一帯	8月23日	クロダイ	4,000尾
兵庫	尼崎市、神戸市、明石市	6月7日	マコガレイ	3,900尾
滋賀	守山市・大津市・高島市	11月14日	ヘラブナ	525kg
奈良	室生ダム	11月27日	ヘラブナ	300kg
香川	高松市観音寺港	6月6日	カサゴ	7,700尾
徳島	徳島市津田一文字防波堤周辺	5月25日	カサゴ	7,800尾
高知	土佐しおかぜ公園前・高知市浦戸	5月25日	カサゴ	8,000尾
愛媛	伊予市森漁港・新居浜市黒島岸壁	6月6日	カサゴ	7,500尾
鹿児島	鹿屋市古江港・垂水市南垂水港	7月12日	マダイ	5,400尾
宮崎	宮崎市みやざき臨海公園	7月17日	ヒラメ	4,200尾
沖縄	宜野湾新漁港	10月15日	ハマフエフキ	4,000尾
佐賀	伊万里市いまりんビーチ	11月26日	カサゴ	5,800尾

マナー看板設置事業

1府5県に26枚設置

全国各地の公園や漁港、野池等で釣り人がトラブルを起こしています。こうしたトラブルが解決されないとやがて釣り禁止となるため、そうならないよう各地でマナー啓発を呼び掛ける看板の設置を進めています。看板の内容、文章については各地の事情に合わせて作成しています。

	県名	場所	設置月	設置枚数
1	和歌山県	有田箕島漁業協同組合、初島渡船組合	2017年6月	4枚
2	静岡県	焼津港親水公園ふいっしゅーな	2017年7月	2枚
3	和歌山県	海南市和歌山北漁業協同組合	2017年10月	2枚
4	千葉県	木更津港	2017年10月	2枚
5	大阪府	大阪港	2017年11月	3枚
6	静岡県	大瀬崎大瀬神社	2018年1月	3枚
7	愛知県	豊浜釣り桟橋（破損した看板の取り換え）	2018年2月	1枚
8	三重県	大内山漁業協同組合	2018年3月	9枚



海南市和歌山北漁業協同組合



千葉県木更津港



和歌山県有田箕島漁業協同組合



静岡県大瀬崎大瀬神社



静岡県焼津港親水ふいっしゅーな



愛知県豊浜釣り桟橋

防波堤開放事業

釣りの振興のためには魚が良く釣れることとともに、安心して釣りを楽しめる釣り場があることも重要です。過去釣り場として利用されていた多くの港湾が、テロ対策のための国際条約により立入禁止となりました。さらに釣り人の死亡事故や、ゴミの放置や違法駐車等の問題で釣り場が立入禁止になるケースが全国で起きています。

家族で安全に釣りを楽しめる管理釣り場ができることは、釣りの振興には大変重要です。日本釣振興会では過去各地の行政に釣り場の開放を働き掛けてきましたが、2017年からは地域創生の一つの手段としての釣り場の開放を、国交省の協力を得て各地で行政に働きかけをしております。その結果2018年には秋田港と青森港で釣り場開放を検討する協議会が立ち上がり、試験開放に向けた動きが出てきました。

～現地確認のようす～



つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業のあゆみ



2011 年度

(社) 日本釣用品工業会

- ワーム湖底・海底清掃開始
- ビジョン「つりの未来のために私たちができること」策定
- 業界内 666 社に向けアンケート実施

2012 年度

(社) 日本釣用品工業会

- 提言「つり環境ビジョン 2012」発表
- (社) 日本釣用品工業会と (公財) 日本釣振興会の連携開始



(社) 日本釣用品工業会・(公財) 日本釣振興会は、合同会議を 7 回開催

2013 年度

(一社) 日本釣用品工業会と (公財) 日本釣振興会は、「つり環境ビジョン事業」を協働事業としてスタート

清掃事業

(一社) 日本釣用品工業会
4 県 4 箇所 17 日実施

(公財) 日本釣振興会
15 府県 29 箇所 29 回実施

放流事業

(一社) 日本釣用品工業会
約 20 万尾放流

(一社) 日本釣用品工業会・(公財) 日本釣振興会は、合同会議を 4 回開催

2014 年度

清掃事業

(一社) 日本釣用品工業会
20 道県 40 箇所 166 日実施

(公財) 日本釣振興会
11 県 27 箇所 27 回実施

放流事業

(一社) 日本釣用品工業会
約 20 万尾放流

釣り場拡大事業

(公財) 日本釣振興会
新潟県柏崎港西防波堤開放

(一社) 日本釣用品工業会・(公財) 日本釣振興会は、合同会議を 5 回開催

2015 年度

清掃事業

(一社) 日本釣用品工業会
19 道県 39 箇所 150 日実施

(公財) 日本釣振興会
13 県 30 箇所 30 回実施

地球環境基金企業協働プロジェクト
つり環境ビジョン助成 8 団体助成

2016年度

放流事業

(一社) 日本釣用品工業会
約 20 万尾放流

(公財) 日本釣振興会
35 箇所 156,333 尾 84,175 粒 3,709Kg 放流

釣り場拡大事業

(公財) 日本釣振興会
マナー看板 4 箇所 30 枚設置

(一社) 日本釣用品工業会・(公財) 日本釣振興会は、合同会議を 6 回開催

清掃事業

(一社) 日本釣用品工業会
20 道府県 37 箇所 150 日実施

(公財) 日本釣振興会
11 都府県 24 箇所 24 回実施

地球環境基金企業協働プロジェクト
つり環境ビジョン助成 8 団体助成

放流事業

(一社) 日本釣用品工業会
約 20 万尾放流

(公財) 日本釣振興会
61 箇所 153,385 尾 84,000 粒 3,977Kg 放流

釣り場拡大事業

(公財) 日本釣振興会
新潟県直江津港第 3 東防波堤を開放
マナー看板 32 箇所 154 枚設置

(一社) 日本釣用品工業会・(公財) 日本釣振興会は、合同会議を 4 回開催

2017年度

清掃事業

(一社) 日本釣用品工業会
25 道府県 40 箇所 149 日実施

(公財) 日本釣振興会
10 府県 19 箇所 19 回実施

地球環境基金企業協働プロジェクト
LOVE BLUE 助成 8 団体助成

放流事業

(一社) 日本釣用品工業会
約 20 万尾放流

(公財) 日本釣振興会
37 箇所 139,550 尾 83,600 粒 3,608kg 放流

釣り場拡大事業

(一社) 日本釣用品工業会
内水面釣り場拡大 (ワカサギ)
群馬県鳴沢湖、長野県ほか 2 か所を開放

(公財) 日本釣振興会
マナー看板 8 箇所 26 枚設置

(一社) 日本釣用品工業会・(公財) 日本釣振興会は、合同会議を 2 回開催

未来へ残したい美しい地球の つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業

ア	(有) オフィス・ユーカリ (株) オフィスアクセル (株) オリムピック (株) オンスタックル	サンヨーナイロン(株) (株) サンライン (株) ジークラック (株) シーフロアコントロール (株) シマノ (株) 清水 (株) 下田漁具 (株) ジャクソン (株) ジャッカル NPO 法人 ジャパンゲームフィッシュ協会 (株) ジャンプライズ (株) 上州屋 (株) スーパー・ビー skillful (株) スズミエンタープライズ スタジオディーピーアイ(株) スタンキーパー (株) スティールハント (株) スナガ (株) スポーツライフプラネット (株) スミス 征興産業(株) (株) 清光商店 (株) ゼニス (株) ゼファーボート (株) 双進
(株) ア・ネットコトブキヤ (有) アイビーライン (株) アイビック アキレス(株) (有) アクティブ アサヒレジャー(株) アチック (株) アピア (株) アムズデザイン (有) アリゲーター技研 (株) アングラーズ アングラーズサポートシステム(株) アングラーズデザイン(株) アングラーズリパブリック(株) (有) アングル (株) イシグロ (有) イシナダ釣工業 五十鈴工業(株) (株) issei ING.co., INFINITE SEEDS MAKERS(株) ヴァンフック(株) (株) ウイン インコーポレーテッド, ジャパン (株) ウイング 植田漁具(株) (株) ウォーターハウス (有) ウォーターランド (株) 魚矢 (株) 宇崎日新 ウチダトレーディング・モリックスジャパン (株) エイチ・エー・エル (株) エイテック (株) ESTATE (株) エバーグリーンインターナショナル エフ・ケイ (有) エムワントレーディング オウルジーンズ (有) オー・エス・ピー OSGS (株) オーナーばり (株) オーパデザイン (株) オオモリ (有) オジーズ (株) 小野由	カ (株) 鶴祥 景山産業(株) (株) カズマーク (株) カツイチ (有) 加藤精工 カハラジャパン(株) (有) カビイ (株) がまかつ (有) カラーズインターナショナル (株) 川せみ針 (有) ガンクラフト (有) 関門工業 (株) キサカ (株) キザクラ (株) KILLER HEAT (株) クリーブラッツ (株) Grayhound クレハ合繊(株) グローブライド(株) (株) ケイテック (株) ゲインコーポレーション (株) ケーケー関東 ゲーリーインターナショナル(株) (株) KIOB ケンインターナショナル(株) (株) 剛樹 興和(株) (株) ゴーセン (一社) コニー (株) コヒナタ	夕 第一精工(株) 大同(株) 大同石油(株) ダイトウブク(株) 太陽産業(株) (株) ダイレイ タカ産業(株) 高階救命器具(株) (株) タカタ (株) タカミヤ (株) タックルハウス 谷山商事(株) タブリエ・コミュニケーションズ(株) (株) ダミキジャパン (株) ダン 痴虫 中央漁具(株) (株) 津田商会
	サ (株) 34 (有) 財津釣具 (有) サウスウインド 栄通商(株) 櫻井釣漁具(株) (株) ささめ針 (株) ザップ (有) サニー商事 サポートエンジニアリング フラー	

ために 今 私たちは行動します

250社・団体参加(2018年3月31日現在 50音順)

(株)ツネミ
つりー(株)
(株)釣研
(株)釣りビジョン
(株)つり人社
(株)DRT
D-CLAW
(株)DSTYLE
(株)ディーパース・ファクトリー
TICA JAPAN(株)
(株)ティムコ
(株)テクノス
(株)デプス
(株)デュオ
(株)天龍
(株)トアルソン
東邦産業(株)
東レ・モノフィラメント(株)
(有)トオヤ
(株)土肥富
(株)TRYALL
DRANCKRAZY(株)
DreemUP
ドリームエクスプレスルアーズ
ナ
(株)内外出版社
(株)ナカジマ
ニッコー化成(株)
(株)NOIKE
ハ
(株)ハイテックボート
ハイドアップ(有)
バスディ(株)
(株)バスディジャパン
(株)林釣漁具製作所
(株)ハヤブサ
はり秀(株)
(株)ハリミツ
(有)HMKL
HAND MADE LURE HIRO
(株)ビーエムオージャパン
ヒットコンポジット(株)
ピュア・フィッシング・ジャパン(株)
(有)ヒロカコーポレーション
琵琶湖遊漁船業協会

FIELD BACK
フィッシュ・アンド・ハート(株)
Fishman(株)アレア
プエブロ(株)
(株)フォレスト
富士工業(株)
富士灯器(株)
(株)フジノライン
(株)フジワラ
(株)藤原辰次商店
(株)ブリーデン
ブルーブルー(株)
プロズワン
(株)プロックス
ベイトブレス
BeveL
(株)ベルモント
(株)北摂マリン
Bottomup(株)
BOREAS
(株)ボンバダアグア
マ
(株)マガジン・マガジン
マルキュー(株)
丸米商事(株)
(株)マルシン漁具
MARUTE
(株)まるふじ
mibro
(株)ミヤマエ
(株)ムカイフィッシング
(株)名光通信社
明邦化学工業(株)
(有)メガテック
メガバス(株)
メジャークラフト(株)
(株)モーリス
(有)もちづき釣具
(株)もりげん
moriken speed bite
ヤ
(株)ヤマイ
山田電器工業(株)
山豊テグス(株)
山本光学(株)

(株)ヤマリア
(株)ヤリエ
ユニチカ(株)
(有)よつあみ
ラ
(株)ラインシステム
(有)ラガチャイナ
落花生
(株)ラッキークラフト
Rattytwister
ラパラ・ジャパン(株)
REALS
(株)リガール
(株)リコーサーバンス
(株)リチャーズ
リトルジャック(株)
(有)リトルプレゼンツ
リミット
lure angle HAMA
ルアーショップ アンドウ
LURESHOP riprap
+ Rooms'
(株)ルミカ
RAID JAPAN(株)
(株)レイン
LEGAME
レジットデザイン(株)
LESS is MORE
(有)ロデオクラフト
ワ
(株)ワールドスポーツ
WILDFINS
(株)脇漁具製作所
(株)和田製作所
(株)ワトスワクトリー

< 寄付企業 >

— 2017年度 —

(有)エムワントレーディング

2017年度LOVE BLUE事業収支報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額
【収入の部】		
(1) シール売上収入		
環境・美化シール販売収入	7,500,000	6,543,523
商標使用料収入	210,000,000	217,981,629
シール売上収入等計	217,500,000	224,525,152
(2) 環境保全協力金収入（会計間振替）	17,500,000	17,962,897
釣竿を除く商品× 2/10000	13,500,000	13,920,806
釣竿× 2/10000	4,000,000	4,042,091
(3) 環境協力金収入	500,000	300,000
環境保全協力金収入等計	18,000,000	18,262,897
収入合計	235,500,000	242,788,049
【支出の部】		
I 事業活動費支出		
(1) 水中清掃事業費支出		
清掃業務費用支出（プロダイバー）	80,000,000	89,520,503
業務委託費支出（日釣振）	7,000,000	5,928,615
水中清掃事業費支出計	87,000,000	95,449,118
(2) 陸上清掃事業費支出		
陸上清掃費用支出	15,000,000	15,000,000
陸上清掃事業費支出計	15,000,000	15,000,000
(3) 放流事業費		
放流事業費支出	20,000,000	18,485,199
業務委託費支出（日釣振）	12,000,000	11,750,225
放流事業費支出計	32,000,000	30,235,424
(4) 釣り場拡大事業費支出		
釣り場拡大事業費支出（日釣工）	15,000,000	4,730,160
釣り場拡大事業費支出（日釣振）	18,000,000	11,898,000
マナー看板設置支出（日釣振）	3,000,000	1,771,680
釣り場拡大事業費支出計	36,000,000	18,399,840
(5) 予備費支出		
予備費支出計	10,000,000	0
事業費支出計	180,000,000	159,084,382
事業費比率	76.4%	65.5%

(6) 運営経費支出		
LOVE BLUE人件費支出	24,349,902	19,134,175
環境・美化シール印刷費支出	350,000	345,600
旅費交通費支出	8,000,000	5,084,045
通信運搬費支出	1,200,000	972,512
資料作成費支出	1,800,000	2,524,573
宣伝費支出	15,000,000	9,057,460
租税公課支出	3,000,000	6,698,583
会議費支出	100,000	332,496
支払手数料支出	1,200,000	0
諸謝金支出	200,000	0
消耗品費支出	200,000	299,747
雑支出	100,000	66,672
運営経費支出計	55,499,902	44,515,863
事業活動費支出合計	235,499,902	203,600,245
事業費比率	100.0%	83.9%
事業活動収支差額	98	39,187,804
II 振替経費支出		
振替人件費支出	3,045,557	2,108,425
その他一般管理費支出	1,975,994	1,811,418
租税公課支出	216,600	214,662
支払利息支出	11,791	11,791
F会館維持管理費支出	106,400	130,076
修繕費支出	76,000	15,654
法人税等	0	4,077,429
振替経費支出計	5,432,342	8,369,455
【投資活動収支の部】		
(1) 投資活動収入		
投資活動支出計	0	0
(2) 投資活動支出		
特定預金取得 支出	422,819	364,467
退職給付引当預金取得支出	422,819	364,467
固定資産取得 支出	200,000	0
商標権取得 支出	200,000	0
投資活動支出計	622,819	364,467
投資活動収支差額	△ 622,819	△ 364,467
当期収支差額	△ 6,055,063	30,453,882
LOVE BLUE 事業前期繰越収支差額	54,916,260	54,916,260
次期繰越収支差額	48,861,197	85,370,142

日本の釣り文化の醸成と LOVE BLUE 事業の役割

今年の4月に第5次環境基本計画が閣議決定されました。環境基本計画は持続可能な社会に向けて国や自治体だけではなく、色々な関係者が取り組むべき方向の道しるべとなるものです。

この中では、わが国の自然に育まれた多様な文化的資源の活用、都市と農山漁村の共生・交流、エコツーリズムなど各種ツーリズムの推進などが取り上げられています。さらには、自然とふれあう機会が乏しくなっている現代の子どもたちに、「五感で感じる」原体験や自然を感じることでできる機会を提供することの重要性が述べられています。インターネットやSNSが広がり、バーチャルな世界にふける時間の多い若い世代こそ、本当の自然に直接触れるリアルな体験がますます重要になっているのです。快適で安全な釣り環境を作り、地域の自然や社会と調和した形で多くの人が体験できる釣り文化を醸成していくことは、まさに今回の環境基本計画の目指すところでもありたいと思われまふ。

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業が進めてきた「日本の釣り文化の向上」への取り組みは、2017年度もこれまでの実績を基に、政府主催行事への参加や全国豊かな海づくり大会への参画、更には水産庁後援事業の開始などもあり、社会貢献としての意義も含めて今後ますます重要になっていくでしょう。人口減少や高齢化、地域の衰退などが懸念される中で、若い世代や女性層へのアプローチ、地域の自然や社会・生業との調和、インバウンド旅行者など新たな層の巻き込み、IOTやAIなどの最先端技術の活用など、さまざまな新しい課題に斬新な発想で、引き続き取り組まれることを期待するものです。



京都大学名誉教授
松下和夫

公式FACEBOOK・公式ホームページのご案内

公式FACEBOOKでは最新の情報(水中クリーンアップ活動等)を配信しています。

公式ホームページでは自治体や地元からの生の声や、詳細な活動報告を掲載しています。

ぜひご覧ください。



FACEBOOK LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE
FACEBOOK



LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE HP
<http://www.loveblue.jp/>



編集協力：公益財団法人日本釣振興会
104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館3階
TEL：03-3555-3232 FAX：03-5542-2941

編集・発行：一般社団法人日本釣用品工業会
104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5階
TEL：03-3555-0101 FAX：03-5542-2929 E-mail：info-fev@jaftma.or.jp

